

広報

ただみ

4
2016 月号
No. 551
平成28年4月10日

平成28年度 只見町予算..... 2~3

＜News&flash＞

只見町議会議員一般選挙結果/
第七次只見町振興計画(案)を答申 ほか..... 4~5

＜町の話＞

卒園・卒業式/ブナセンター講座・自然観察会..... 6~7

第44回只見ふるさとの雪まつり

フォトコンテスト・ミニ雪像コンテスト結果発表..... 8~9

第9回 卒業証書授与式

卒業

40人が新たな一歩



保護者席

今月の表紙

3月11日、只見中学校で第9回卒業証書授与式が行われ、男子19人、女子21人の計40人が学び舎を後にしました。

卒業生は、只見中学校で過ごした3年間の思い出を胸に、夢と希望を持って春から新たな一歩を踏み出します。

【関連記事6ページ】

只見の挑戦「人と自然の共生」

◆平成28年度只見町予算

平成28年度予算は、振興計画の理念に基づき只見町の十年後の将来像(夢)の実現に向かって、各種事業へ取り組んでいきます。

一般会計の予算規模は59億6,000万円となり、前年度対比8億7,000万円の減、12.7%の減となっています。また、十二の特別会計の合計額は29億1,220万円となっており、一般会計と合わせた平成28年度予算総額は88億7,220万円です。

◆一般会計 歳入

歳入は、「依存財源」(国や県から入るお金)が62.6%を占め、その中でも地方交付税の割合が最も高く、歳入全体の33.1%を占めています。

また、「自主財源」(町が独自に確保できるお金)では、繰入金で歳入全体の20.5%で、前年度に比べて9億7,051万円の減額となっています。町税は歳入全体の14.6%で、前年度に比べて1,937万円の減額となっています。

◆一般会計 歳出

歳出は、総務費の占める割合が最も高く23.4%となっています。主な事業は、只見振興センター整備事業、地域づくり交付金事業、JR只見線の復旧復興関連事業などです。

次に、教育費の占める割合が14.0%となっています。これは、奥会津学習センターの増設工事の実施によるもので、昨年比60.2%の増となっています。

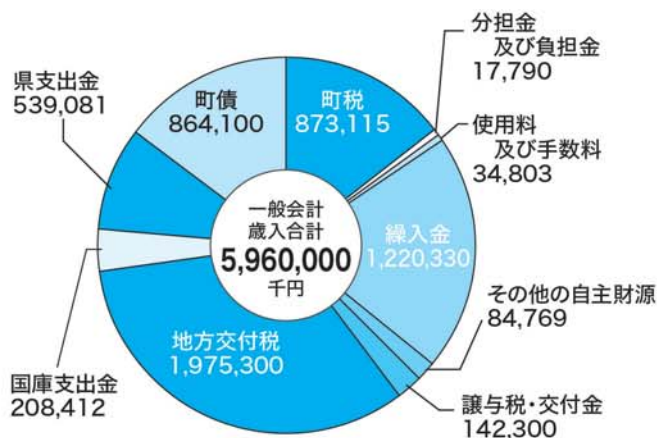
また、民生費の占める割合が13.2%となっています。主に後期高齢者医療、介護保険、児童福祉などの安定した社会生活を保障するための経費です。

続いて、農林水産業費、土木費、公債費、衛生費、商工費、災害復旧費の順になっています。

農林水産業費では、稲作担い手農家生産基盤整備支援畑地有効活用支援補助を実施し、土木費では、道路橋梁等定期点検、公営住宅長寿命化工事、2・3世代同居改修補助を実施します。公債費は、平成26年度臨時財政対策債の償還開始による増となっています。

商工費では、プレミアム商品券発行、宿泊飲食事業持続化創業支援を実施します。災害復旧費は、平成26年発生林道災害復旧工事の増によるものです。

6,000万円



■歳入

(単位:千円)

項目	28年度	構成比	27年度	増減率
町税	873,115	14.6%	892,491	-2.2%
地方譲与税	55,000	0.9%	53,000	3.8%
利子割交付金	400	0.0%	740	-45.9%
配当割交付金	500	0.0%	400	25.0%
株式等譲渡所得割交付金	200	0.0%	1	19900.0%
地方消費税交付金	76,000	1.3%	57,000	33.3%
自動車取得税交付金	9,000	0.2%	10,600	-15.1%
地方特例交付金	400	0.0%	410	-2.4%
地方交付税	1,975,300	33.1%	2,080,000	-5.0%
交通安全対策特別交付金	800	0.0%	840	-4.8%
分担金及び負担金	17,790	0.4%	23,409	-24.0%
使用料及び手数料	34,803	0.6%	34,590	0.6%
国庫支出金	208,412	3.5%	244,266	-14.7%
県支出金	539,081	9.0%	339,531	58.8%
財産収入	21,873	0.4%	22,075	-0.9%
寄付金	8,001	0.1%	4,001	100.0%
繰入金	1,220,330	20.5%	2,190,840	-44.3%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	54,894	0.9%	56,205	-2.3%
町債	864,100	14.5%	819,600	5.4%
歳入合計	5,960,000	100.0%	6,830,000	-12.7%

■町税の内訳

町民税	1億4,971万3千円
固定資産税	6億8,481万8千円
軽自動車税	1,144万4千円
町たばこ税	2,352万1千円
入湯税	361万9千円

町民一人あたりにすると(3月1日現在人口)…………… 4,574人

■一般会計支出額(使われるお金の額)…………… 1,303,017円

■町税負担額(納めていただくお金の額)…………… 190,887円

■歳出

(単位:千円)

項目	28年度	構成比	27年度	増減率
議会費	74,572	1.3%	85,331	-12.6%
総務費	1,395,958	23.4%	2,308,917	-39.5%
民生費	788,069	13.2%	717,085	9.9%
衛生費	423,668	7.1%	565,342	-25.1%
労働費	2,513	0.0%	13	19230.8%
農林水産業費	554,141	9.3%	672,800	-17.6%
商工費	380,896	6.4%	409,264	-6.9%
土木費	507,604	8.5%	677,506	-25.1%
消防費	226,262	3.8%	304,380	-25.7%
教育費	834,636	14.0%	520,887	60.2%
災害復旧費	277,575	4.7%	105,943	162.0%
公債費	465,641	7.8%	427,199	9.0%
予備費	28,465	0.5%	35,333	-19.4%
歳出合計	5,960,000	100.0%	6,830,000	-12.7%

平成28年度の主な事業

新規…◎、拡充…○、継続…印なし

■自然と共生するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
1,473万円 ユネスコエコパーク推進事業
- 雪と共存するまちづくり
3,000万円 除雪機械更新事業
1,630万円 高齢者等除雪支援事業
1,500万円 克雪対策事業補助金
- 道路網の整備と定住環境の整備
500万円 ◎2・3世代同居改修補助金
4,730万円 町営住宅長寿命化事業
- 自然と調和した地域イメージに合った景観づくり
610万円 空き家対策補助事業
- 水環境の保全と上下水道の整備
16,487万円 ◎只見統合簡易水道整備事業

■文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり

- 将来の只見を担う子どもたちの教育の充実
321万円 ○子ども読書活動推進事業
35,000万円 ◎奥会津学習センター整備工事
440万円 未来の自分設計奨励金交付事業
- 家庭教育力の向上
457万円 放課後子ども教室事業
- 地域文化の振興(地域で育まれた人の技・物・食の伝承)
172万円 ○芸術文化事業
421万円 ◎八十里古道調査事業

■住民が主役のまちづくり

- 集落・振興センターなど住民交流を主体とした地域づくり
55,000万円 ◎只見振興センター新築工事
590万円 集落運営支援交付金事業
2,186万円 自然首都只見地域づくり交付金
- 新たな視点による地域づくり
388万円 ◎地域おこし協力隊推進事業
- 効率的な財政運営
216万円 ◎地方会計推進事業
650万円 ◎公共施設総合管理計画策定事業
- 総合的な土地利用・交通体系の確立
1,561万円 JR只見線全線再開通事業
885万円 ○観光交通事業

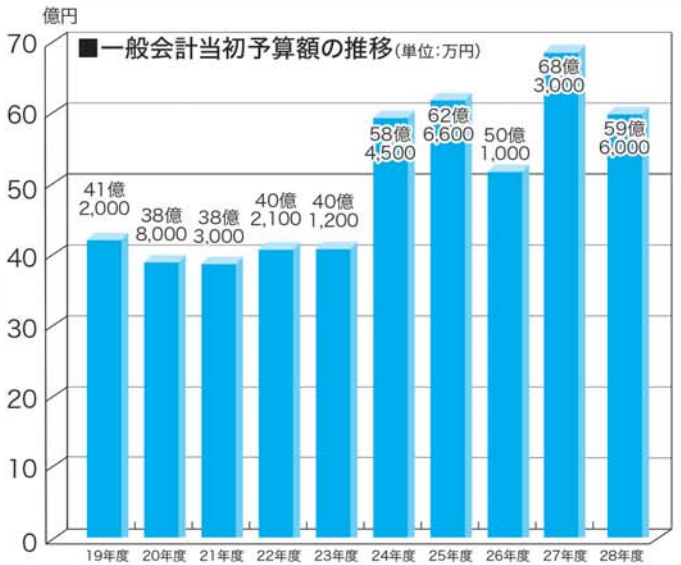
■住みやすいまちづくり

- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
555万円 妊婦健診助成事業
350万円 子宝祝い金事業
1,430万円 18歳以下医療費無料化事業
1,600万円 ◎健やか発育・発達支援事業
600万円 学校給食支援事業
- 安心して暮らせるまちづくり
400万円 朝日診療所医療機器整備事業
522万円 ◎デジタル簡易無線機整備事業

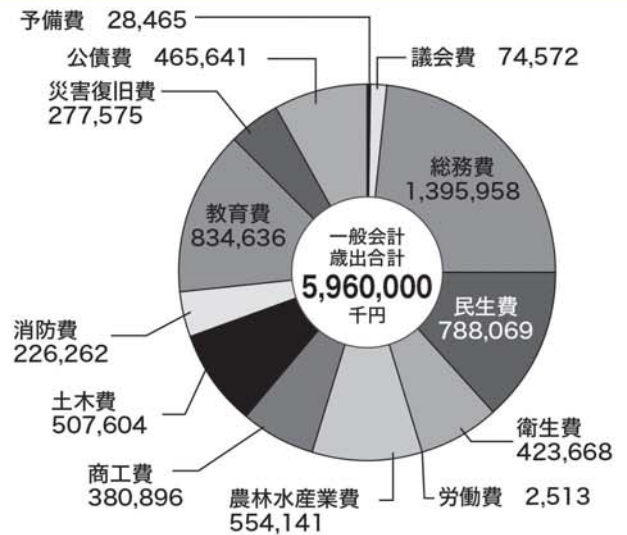
■働きがいのあるまちづくり

- 受け継ぎ託す、プライド農業の実践
1,381万円 ○担い手育成事業
2,000万円 ◎稲作担い手農家生産基盤整備支援事業
280万円 ◎畑地有効活用支援事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
200万円 地元産材活用支援事業
26,852万円 林道過年災害復旧事業
- 活力と賑わいそして持続ある商工業の確立
1,700万円 プレミアム商品券発行事業
120万円 ◎U・Iターン等促進助成金
250万円 ◎雇用促進奨励金
730万円 ○誘致企業等除雪費補助金
- 地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進
1,259万円 ◎浅草岳山麓沼ノ平整備事業
2,500万円 宿泊・飲食事業持続化創業支援事業
2,000万円 ◎公共施設等案内板改修工事

自然首都・



一般会計 予算総額 59億



■特別会計予算

(単位: 千円)

会計区分	28年度	27年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	571,000	565,000	1.1%
国民健康保険施設特別会計	448,000	479,000	-6.5%
後期高齢者医療特別会計	133,000	136,000	-2.2%
介護保険事業特別会計	762,000	665,000	14.6%
介護老人保健施設特別会計	261,000	250,000	4.4%
訪問看護ステーション特別会計	16,000	17,000	-5.9%
地域包括支援センター特別会計	10,200	10,100	1.0%
簡易水道特別会計	300,000	406,000	-26.1%
観光施設特別会計	40,000	43,000	-7.0%
交流施設特別会計	58,000	67,000	-13.4%
集落排水事業特別会計	298,000	320,000	-6.9%
朝日財産区特別会計	15,000	11,300	32.7%
合計	2,912,200	2,969,400	-1.9%

投票率 90・51%

只見町議会議員一般選挙結果

任期満了に伴う只見町議会議員一般選挙が3月22日(火)に告示、3月27日(日)に投票が行われ、現職9人、新人3人の12人が当選しました。

当日の有権者数は3,877人(男1,865人、女2,012人)で投票率は90・51%と前回の91・50%を0・99ポイント下回りました。

3月28日に役場本庁で当選証書付与式が行われ、町選挙管理委員会の横山英彦委員長から当選者一人ひとりに当選証書が手渡されました。任期は平成28年4月20日から4年間です。

あいさつに立った横山委員長は「只見町の様々な課題を克服する為、活躍される事を祈願します」と述べました。

候補者別の得票数

当落	氏名	党派	得票数
当選	目黒 仁也	無所属	349.517
当選	目黒 道人	無所属	326.482
当選	佐藤 孝義	無所属	298
当選	鈴木 好行	無所属	289.509
当選	齋藤 邦夫	無所属	285.156
当選	鈴木 征	無所属	278.490
当選	新國 秀一	無所属	270
当選	大塚 純一郎	無所属	254
当選	中野 大徳	無所属	251
当選	山岸 国夫	日本共産党	243.843
当選	酒井 右一	無所属	224
当選	藤田 力	無所属	215
	小沼 信孝	無所属	190

町民の代表 12人 新議員の顔ぶれ



鈴木 好行 (59)
当選回数1回



佐藤 孝義 (65)
当選回数3回



目黒 道人 (42)
当選回数1回



目黒 仁也 (57)
当選回数2回



大塚 純一郎 (63)
当選回数3回



新國 秀一 (59)
当選回数3回



鈴木 征 (77)
当選回数7回



齋藤 邦夫 (74)
当選回数5回



藤田 力 (68)
当選回数3回



酒井 右一 (66)
当選回数3回



山岸 国夫 (69)
当選回数1回



中野 大徳 (57)
当選回数3回

これからのまちづくりの指針
只見町振興計画(案)について答申

只見町振興計画審議会は、3月10日に目黒町長へ第七次只見町振興計画(案)について調査・審議の結果を答申しました。

今回の答申は、本部会及び地域振興部会、医療・福祉・保健部会など5つの専門部会(専門部員51名)が策定した振興計画(案)について、平成27年7月2日に町からの諮問を受け、審議会委員20名が慎重に審議を重ねまとめたものです。

振興計画の概要は、次号の広報ただみで皆さんにお知らせします。



▲目黒町長に答申書を手渡す振興計画審議会の菅家二千六会長

観光ガイドなど22名が参加
野外・災害救命員講習会を開催

3月5、6日の2日間、季の郷湯ら里を会場に、野外・災害救命員の講習会が只見町観光まちづくり協会の内部研修会として開催され、野外活動を行うガイドや観光施設のスタッフなど22名が参加しました。

講習は、NPO法人ウィルダネス・メディカル・アソシエイツ・ジャパンという北米の救命法を国内に普及する団体に行っていたが、今回の講習で参加者全員が野外災害救急法の国際資格を取得しました。



▲2日間みっちりとして屋外、屋内で講習が行われました



読み聞かせの仕方について学ぶ
読書活動支援者育成基礎研修

3月16日、読み聞かせボランティアの方などを対象に朝日振興センターで子ども読書活動支援者育成基礎研修会が行われました。

前半は、JPIIC読書アドバイザーの宇野君代さんに選書と読み聞かせの仕方について講演していただき、年齢別にあつた本の紹介や、読み方について教えていただきました。後半は、紙芝居屋正ちゃんの世界に紙芝居の実演を行っていただき、参加者は読み聞かせについて知識を深めていました。



▲オススメの絵本を紹介する宇野さん

民具の素晴らしさを学んだ2年間
人材育成講座 第6期生閉講式

3月18日、只見町振興センターで人材育成講座 第6期生「民具を伝承・活用する人材の育成」の閉講式が行われました。2年間の講座を終えた受講生9名のうち、この日は5名が参加され、修了証が目黒町長から手渡されると、「講座を通して民具について深く学ぶ事ができた。只見の民具の素晴らしさを次の世代へと繋げる難しさも感じているが、今後も民具の良さを伝える活動や民具についての勉強していきたい」と話してくれました。



▲今後の皆さんの活躍を期待します!

＊春は別れと成長の季節＊



▲別れの歌を唄う只見保育所の子ども達

3月25日、町内の3保育所では満了式が行われました。今では普通にできる走ったり、遊んだりする事も保育所に入ったばかりの頃はできませんでした。保育所で過ごしたわずか数年間で子ども達は大きく成長しました。これからも子ども達はさらに成長していきます。



3月23日は町内3小学校の卒業式が行われました。朝日小学校は今年度12名が卒業し、4月からは中学生になります。卒業証書授与後、一人ひとりが将来の夢を皆さんの前で発表してくれましたが、その夢を叶えるため中学校でも頑張ってくれる事でしょう！



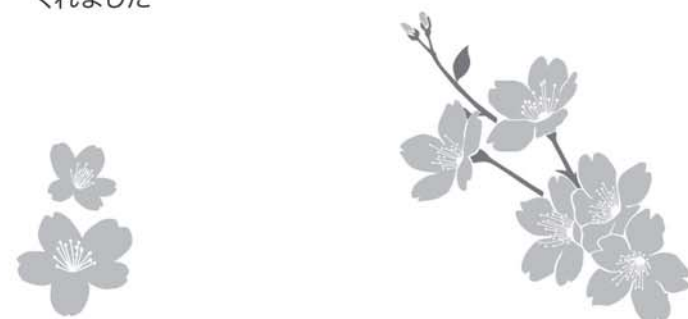
▲校長先生から卒業証書をしっかりと受け取りました



▲別れのことはばでは、楽しかった6年間の思い出を話してくれました



▲卒業生を代表し答辞を述べる吉津勇平君



3月11日の只見中学校の卒業式。将来を考え様々な高校へ進学する卒業生は友達と離れ離れになってしまいますが、只見中学校で充実した時間を過ごしたように、高校でも忙しくも楽しい毎日を送って欲しいと思います。



▲最後の式歌では多くの生徒が涙をこぼしました

ブナセンター講座 「葉と花の戦略と絶滅危惧種の保全」3月13日(日)

鷺谷いづみ氏(中央大学・教授)を講師にお招きし、植物が生き残り、子孫を残すために行っている方法(戦略)と植物の保全についてお話していただきました。植物は動けないこと、目や手足の数が決まっている動物とは違って成長に伴って葉や枝を増やすこと、同じ遺伝子を持つクローン個体ができることが動物と異なります。植物は動けない点を補うために、葉や枝の配置を柔軟に変え、昼頃に光合成速度を低下させる「葉の昼寝」をすることで強い光から葉を守り、寒い冬は葉を落として安全な場所に栄養分を貯蔵し、花や実の形態で虫や鳥を引き寄せるといった戦略を用いているそうです。

また、鷺谷氏が長年研究されてきたサクラソウを中心に、植物を保全する際に必要となる考え方について、適度な攪乱(人為的な間伐や採取)、花粉や種子を運ぶ動物の存在、遺伝的多様性の重要性

などもお話していただきました。

鷺谷氏には、参加者からの質問にも丁寧に答えていただき、講座に参加した約40名の参加者からは、「わかりやすかった」「面白かった」「野菜を育てる参考になった」という満足の声が聞かれました。



▲たくさんの方に参加いただきました

ブナセンター自然観察会 「冬の鳥を見よう」3月12日(土)

今回は町内の方を中心とした参加者で、只見町で冬を越す鳥たちを探しに行きました。

はじめに、只見ダムでカモ類の観察を行い、遠くのカモ類は望遠鏡を使って模様や色をじっくりと観察しました。つぎに、青少年旅行村のコナラ林の雪上をかんじきやスノーシューで歩きながら森の鳥を探しました。

ここでは、キツキ類のコゲラやアカゲラが幹を突きながらゆっくりと木を登っていく様子が観察できました。この日は雪が湿って重く雪上を歩くのは大変でしたが、雪の下から這い出てきたユキツバキや地面から顔を出したフキノトウを見ることもでき、残り少ない冬と野鳥を楽しむことができました。



▲只見ダムでカモ類を観察する参加者



▲雪上を歩きながら森の鳥を探しました



第44回 只見ふるさとの雪まつり
フォトコンテスト 
入賞作品決定!!

〈入選〉

やまざき	あつし	さん(福島県福島市)
山崎	篤	
よしだ	かずき	さん(福島県いわき市)
吉田	和貴	
ばば	むつお	雄さん(只見町蒲生)
馬場	睦	
ばば	としこ	さん(只見町蒲生)
馬場	トシ子	
ふくはら	かつひろ	宏さん(千葉県柏市)
福原	勝宏	

応募総数60点

たくさんのご応募
 ありがとうございます!

只見町長賞
 「只見町を灯す冬花火」
 井上 真也さん (埼玉県北本市)



審査員特別賞

「無病息災を祈願して」
 小田島 守明さん (福島県郡山市)



ティーエヌアイ工業(株)社長賞

「年男の餅まきだ!!」
 寺澤 達夫さん (新潟県見附市)



優秀賞

「ヤアー！」
 入澤 稔夫さん (新潟県見附市)



優秀賞

「神輿渡御」
 佐海 忠夫さん (栃木県真岡市)

第44回 只見ふるさとの雪まつり



ミニ雪像コンテスト 審査結果表

応募件数
48点!

優秀賞



「イワっぺ」
只見町商工会

最優秀賞



「申&すべり台」
蒲生集落活性化委員会

入賞



「ミニオンズ」
黒谷 酒井 みき子さん

入賞



「ブナりんと迎春三番叟」
石伏 目黒 正さん

入賞



「がんと猿（三猿）」
小林 梁取 憲一さん

入賞



「見ざる・言わざる・聞かざる」
東邦銀行只見沖組

4月から朝日診療所に着任しました!

わたなべ こういちろう
渡邊 孝一郎 医師

4月1日、朝日診療所に渡邊 孝一郎 医師が着任されました。渡邊医師は田村市のご出身で、循環器内科を専門としており、着任にあたり只見町の皆さんの健康を守るため一生懸命頑張りたいと意気込みを語ってくれました。

皆さんどうぞよろしくお祈いします。



只見町出身です!よろしくお祈いします!!

4月から7月までの4ヵ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の菅家亜美さんです。朝日診療所では訪問看護がしたいと話してくれた菅家さんは只見町の出身で、中学まで只見で生活をしていたので、顔見知りの方もいらっしゃると思います。菅家さんも懐かしい顔に会える事を楽しみにしていますので、ぜひ気軽に声をかけてください。

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆



「4月から診察室の配置が変わりました」

雪もだいぶ少なくなり、只見の春も少しずつ感じられるようになりましたね。さて、学校などでは4月から新学年が始まりましたが、朝日診療所も4月からは新体制となりました。変化はいろいろありますが、大きな変化の一つは診察室の場所が変わることだと思います。

上図は以前の朝日診療所の診察室の配置です。急患対応外来が奥にあり、予約外来の2つの部屋は分かれていました。

下図が新体制の診察室の配置になります。急患対応外来が入口近くになって、予約外来が2つ並んでいます。

この配置になった理由ですが、予約外来では膝や腰の注射をすることが多いのですが、並んだ部屋のほうが準備しやすく、よりスムーズに処置を提供できるからです。

最初はすこし混乱するかもしれませんが、効率よく診療を行うため、皆さまのご協力をお願いいたします。

上図



下図



町史

とっておきの話

261

新潟大学教授

崎尾 均

只見町の水辺林は未来への遺産(最終回)

―河畔林をどのように管理するか―

水辺の美しさは、水と砂(礫・岩)と森林の調和にあります。しかし、今では、貯水ダムで湖水となった河川、夏に水が枯れてしまう礫だけの河川、大部分が森林化してしまった河川が目立つようになりました。バランスを失った水辺は、河川本来の美しさが奪われただけでなく、生態学的な機能も失われてきています。



▲只見の自然を代表する雪崩植生と河畔林

これまでの河川管理

河川管理は、これまで利水と治水を目的として行われてきました。つまり、ダムによって水を溜め、堤防によって洪水を防ぐという、いわゆる公共事業です。そのために堤外(堤防に囲まれた水が流れる部分)に分布する河畔林などの森林は、水の流れを妨げ、洪水の際には流木の発生源になるとして、伐採除去されてきました。しかし、近年、環境に対する意識が高まる中で、河川法が改定され、河川環境の保全も河川管理の目的に加わりました。ただ、実際には河川管理計画にも具体的な河川生態系の保全については、ほとんど言及されていません。

絶滅危惧種の保全

河川周辺の水辺は、さまざまな生態系の中でも、生物多様性が高いことが知られています。陸上の生物と水中の生物が

ともに分布し、その相互作用も複雑です。

只見町の河川にはヤナギ林が広がっています。なかでも伊南川の河畔林は、絶滅危惧種Ⅱ類のユビソヤナギの日本最大の自生地であり、その保全に関しては、これまでいろいろな議論が交わされてきました。それらの議論の中には、ヤナギは挿し木でいくらでも増やせるから、河畔林は伐採してもよいという科学的な見解を無視した乱暴なものもありました。

樹木が成長し繁殖していく上では、その自生している環境が非常に大切です。植物園に植えられた樹木は、根付いて成長していきませんが、そこで繁殖して個体群を維持できるかという点、そうではありません。とくに水辺環境を生息場所としているヤナギのような樹木は、生態系の微妙なバランスのもとで生活しています。しかも、ヤナギのような先駆種は比較的寿命が短いために、継続的に種子から稚樹が成長できる環境が必要となつてきます。

只見ユネスコエコパークの進む道



▲河川環境を考慮しない河川工事

只見町は二〇一四年六月十二日、ユネスコエコパークに登録されました。それは只見町全域および檜枝岐村の一部を含む七八、〇三ヘクタールという総面積をもち、核心地域、緩衝地域、移行地域により構成されています。

只見町の中で、ユネスコエコパークの核心地域に分布するブナやキタゴヨウなど奥山の森林だけが貴重というわけではありませぬ。人間活動が行われている移行地域内に分布しているヤナギの河畔林もたいせつな生態系となっています。そのなかでも伊南川流域は、堤外(河川敷)が広く、河川攪乱に伴う流路変動が可能のために、自然度の高い

河川環境が維持されてきました。しかし、河畔林が核心地域に指定されておらず、いかに保全していくかが大きな課題となっています。その上、近年の河川改修により、ユビソヤナギの更新環境が改変され、集団の存続が脅かされています。いま必要なことは、水利用や防災だけでなく、ユビソヤナギなどの河畔林を含む河川環境の保全を含めた総合的な河川管理です。

価値ある景観とは

雪の多い只見町の代表的な景観としては、雪崩によって形成される地形や植生とともに、水辺を彩るヤナギの河畔林を上げることができます。標高の高い森林景観は、登山などを除けば、遠くから眺めて楽しむのが主流ですが、河畔林の景観は眺めるだけでなく、直接、河原などの水辺で触れることができます。その意味では、多様な生態系をもつ景観を保全し、ユネスコエコパークの価値ある資源として利用していくためにも、より自然な河川環境を創出していくことこそ、只見町の観光や将来にとって重要であると考えられます。



町民文芸

只見短歌会 二月詠草

大塚栄一 指導

試験中の孫に代りて節分の豆撒く子の声未だに若し

古川 英子

母と同じ悲しみ抱きて生き来しにわれは母より十年も生きし

馬場 八智

雪まつり風雨となりし最終日祈願花火の冴えて広がる

関谷登美子

凍てしるき朝にて雲のひとつなく聳ゆる白樺に霧氷耀ふ

新国由紀子

節分の豆拾ふ子らも来ずなりて老らを呼びて息子豆撒く

渡部ゆき子

初雪を赤き実を受け弓なりとなりし柿の枝重げに揺るる

小倉キミ子

自ら膝の痛みをさすれるは幸せと言ふ媪穩しき

目黒 富子

定例の会の詠草もまとめられず時の過ぎゆく日々の多かり

渡部ヨリ子

パパママと祖父母四人に甘えゐる幼子は曾祖母われに懐かず

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会 三月例会

目黒十一 指導

失えば失う程に桜散る

洋子

深眠り山の寝息や小雪降る

銀ブラの会話軽やか春の空
買い物を待つてぼんやり春の昼

修一

散歩道への字への字の屋根の雪

味代子

平穏と寒木瓜の鉢届きけり

海を向く黙禱の列冴返る
浅草嶺光と影を浮ばせて

一穂

原発の廃炉百年冴返る

恒夫

三、一黙禱のほか術もなく

遣る瀬なし柩見送る雪の果
俳友の厚き忠恕や花明り

吉児

木の根明く街道に浴う三島桐

礼

空樽を積む北窓を開きけり

離人形祝う人なく微笑みぬ
水温む鳥のさえずり華やぎて

信

亡母へも同じ紅ひく余寒かな

順子

春の雪墓にかかりて羽毛ほど

春寒や箱一杯に置き薬
果樹畑行き交う人に春浅し

都

今月の お知らせ

試験

平成28年度 国家公務員
「税務職員採用試験」
(高校卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、税務のスペシャリストとして活躍するバイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

国の財政を支える税務職員に、あなたもチャレンジしてみませんか？

●受験資格

1 高卒見込の者及び高卒後3年を経過していない者

2 人事院が1に掲げる者と同等の資格があると認める者

●受験申込受付期間

平成28年6月下旬

●受験申込方法

受験申込みは原則インターネット

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係	☎ 82-5110
町民係	☎ 82-5100
保健福祉課 保健係	☎ 84-7005
福祉係	☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係	☎ 82-5270
生活環境係	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221
訪問看護ステーション	☎ 84-2612
	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

ネット申込みとします。

郵送又は持参用受験申込書の請求は、平成28年5月9日(月)以降に、最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局へ行ってください。

●第1次試験日

平成28年9月上旬

▼試験に関するお問い合わせ先

仙台国税局人事第二課

試験研修係

☎ 022(263)1111

(内線3236)

人事院東北事務局

☎ 022(221)2022

お知らせ

法務局の登記相談が
予約制となります

福島地方法務局では、登記相談を希望される皆さまに待ち時間なくご利用いただけるよう、一部の登記所窓口で予約制としておりますが、平成28年5月9日(月)からは、この

取扱いを県内全ての登記所窓口に拡大致しますので、あらかじめ予約申込み電話で最寄りの法務局に相談日時を予約願います。

詳細につきましては、電話または福島地方法務局ホームページ(<http://houmukyoku.moj.go.jp/fukushima/>)でご確認願います。

※相談の予約は、平日の午前

9時～午前11時30分までと、午後1時～午後4時までです。取扱時間の異なる登記所もありますので予約の際にご確認願います。

▼予約申込み連絡先

福島地方法務局田島出張所

☎ 0241(62)0249

福島県最低賃金

平成27年10月3日から

時間額 **705円**

最低賃金に関するお問い合わせは
福島労働局賃金室(☎024-536-4604)又は最寄りの労働基準監督署へ

税 今月の納期

4月25日までに
納めましょう

- 固定資産税(1期)
- 農集排使用料(4月分)

只見おもしろ学クイズ

今回は只見の民具についての選択問題です。

(問題)

只見町には、国重要有形民俗文化財に指定されているものも含め、たくさん民具が保管されています。その民具を作ったり、使った人たちが自らカードに記録する方法のことを何方式と云うでしょうか？

- ① 福島方式
- ② 若松方式
- ③ 只見方式
- ④ アダムズ方式

(答えは15ページです)

町職員の退職・新規採用

●新規採用職員(4月1日付)

▽渡邊 孝一郎

(朝日診療所 医師)

▽山内 翔

(農林振興課 農政係)

▽鈴木 徹

(教育委員会 生涯学習係)

▽三瓶 美佳

(朝日保育所)

▽渡部 貴之

(朝日診療所 看護師)

●退職職員(3月31日付)

▽渡部 あき子(保育所)

▽吉津 有子(朝日診療所)

▽長谷部 ゆり子(朝日診療所)

▽齋藤 郁奈(観光商工課)

●県人事交流等派遣職員

〈福島県へ復帰〉

▽古賀 薫(観光商工課)

〈只見町に派遣〉

▽佐久間 貴之(観光商工課)

町長の手帳

町長スケジュール(3月分)

- 1日 只見高等学校卒業証書授与式
- 2日 雪まつり実行委員会、一般質問検討庁議
- 3日 雪まつりフォトコンテスト審査会
- 4日 福島県森林・林業・緑化協会役員会(福島市)
- 5日 TADAMIスノースポーツフェスティバル前夜祭
- 7日 只見町議会3月会議(～16日)
- 10日 雪まつりミニ雪像コンテスト表彰式、
第7次只見町振興計画答申
- 11日 只見中学校卒業証書授与式、
「3.11ふくしま復興の誓い2016in南会津」(南会津町)
- 12日 歳時記の郷・奥会津シンポジウム(金山町)
- 13日 明和公民館まつり
- 14日 第7次只見町振興計画策定推進本部会議
- 17日 臨時庁議
- 18日 消防救急デジタル無線・指令台運用開始式(南会津町)、
人材育成ダイヤモンドプラン第6期生閉講式
- 19日 南会津町合併十周年記念式典(南会津町)、
法務大臣岩城光英を囲む会(会津若松市)
- 20日 馬場前消防団長叙勲祝賀会
- 22日 臨時庁議、南会津地方県出先機関長送別会
(南会津町)
- 23日 朝日小学校卒業証書授与式、ユネスコエコパーク
連絡調整会議
- 24日 JA会津よつば合併記念式典、
只見線復興推進会議検討会(会津若松市)、只見高
校送別会
- 27日 杉山純一県議会議長就任祝賀会(会津若松市)
- 28日 榎田医師離任式、魚沼市表敬訪問(魚沼市)
- 29日 自由民主党本部及び議員連盟への要望活動
(東京)
- 30日 土地改良区理事会・総会、ただみ豪雪林業体験・観
察の森調印式
- 31日 環境衛生組合退職職員辞令交付・離任式、
町退職職員辞令交付・離任式

「只見町での活躍を期待して」

今年は、例年のない暖冬で、平場の雪が3月中には無くなるというこれまで経験のない浅雪となりました。

3月は卒業の季節。卒業は小学生、中学生、高校生の子供も達にとって人生の大きな節目で、少しの不安と大きな希望を抱いて次のステージへ向けて進んでいきます。

卒業式は我が子ならずとも子ども達の流す涙や、成長した我が子を見つめる親の姿は感動的なものです。今年は朝日小学校の卒業式に出席しましたが、卒業証書授与後に卒業生一人ひとりが壇上で自分の将来の夢を語ってくれました。男の子は警察官、教師、医師、役場職員、女の子は看護師、保健師、花屋、お菓子屋さんなどに将来なりたいと大きな声で発表してくれましたが、将来の姿を描く事に大きく影響している事は、親の生き方、先生の指導、関わってくれた地域の人達の姿です。また今回、子ども達の発表を聞いてとても嬉しかった事があります。それは、目指す職業をやがて只見の地で実現したい事、そして町の為に役に立ちたい、そんな心を語ってくれたことでした。ユネスコエコパークの取り組みの一つとして朝日小学校はユネスコスクールに登録し、地域密着型の授業を展開しています。只見学を通じて主体的に郷土を学び郷土を考える。そんな授業を通して、将来只見町で活躍したいと思う子どもが一人でも多く育ってくれば、これ以上のことはありません。

只見町長 目黒 吉久

町民の消息

(2月26日～3月25日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとございます

角田 杏子 (女/裕一・真梨子) 小林
 五十嵐 暖人 (男/譲・陽子) 只見
 大竹 一之進 (男/悠・晴美) 熊倉
 若山 仁 (男/隆・由香里) 黒谷

■ご結婚おめでとございます

只見 鈴木 誠♡目黒 未来 長 浜
 黒谷 菅家晴夫♡五十嵐陽子 会津美野

■おくやみ申し上げます

横山 大太郎	73歳	楢戸
守山 リウコ	85歳	黒谷
梁取 富 榮	93歳	坂田
佐藤 晤 郎	86歳	大倉
鈴木 健 作	69歳	只見
星 ノ ブ	98歳	荒 島

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成28年3月1日現在

人口 4, 440 (ー 7)
 男 2, 165 (ー 4)
 女 2, 275 (ー 3)
 世帯数 1, 807 (ー 3)
 高齢化率 44. 4%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 12 出生 3 死亡 2

あとがき

▽4月の人事異動により、今月号で広報ただみの編集から離れる事になりました。3年間カメラ片手に町内の様々な所にお邪魔させて頂いたごさ、写真を撮らせてもらいありがとうございました。また、たくさんの方から情報をいただいたり、広報の感想をいただいた事に感謝しております。多くの皆さんの協力があつたおかげで広報を毎月発行する事ができました。▽これからも皆さんの協力を頂きながら広報ただみを作っていきたいと思

いますので、新しい広報担当者にも変わらぬご協力をお願いします。

(吉津)

町民章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

生涯学習推進員
大東由佳

朝日振興センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★自分の小さな「箱」から脱出する方法



アービンジャー・インスティテュート/著
(大和書房)

人間関係がうまくいかない…と思う事はありますか？そんな時は自分という小さな箱に入ってしまったいて、実は自分自身が原因で引き起こしている気付かせてくれる本です。具体的事例やストーリー形式で読みやすくなっています。

★ねっこぼっこ



ジュビレ・フォン・オルファース/著
(平凡社)

「さあ起きなさい、子どもたち。もうすぐ春がやってくる」と大地の母さんが呼びかけると、冬の間眠っていた「ねっこぼっこ」たちが起き出します。美しい絵画のような絵と詩のような言葉で100年もの間読み継がれている絵本です。

★もうぬげない



ヨシタケシンスケ/著
(プロンズ新社)

洋服を脱ぐときに、ボタンをはずし忘れて頭がひっかかってぬげない!という経験誰にでもありますよね。もしもこのままぬげなかったらどうしよう…と考える男の子。最後はどうなるのか…?最後

後は笑いが止まらなくなること間違いなしの大人も子供も楽しめる絵本です。

★朝日振興センターでは、リクエストを随時受付しています。読んでみたい!という本があればぜひ、リクエストしてください。

13ページ
 只見おもしろ学
 クイズ 答え
 ③ 只見方式

ミヤマキケマン (学名: *Corydalis pallida* var. *tenuis*)

[ケシ科 キケマン属]



▲ミヤマキケン

ミヤマキケマンは漢字では「深山黄華鬘」と書く春植物の1つです。名前に深山がつきますが、平地や低山地で見ることができ、只見町でも道ばたで見ることができます。また、華鬘とは仏前けまんを飾るために使われる仏具で、うちわ型の板に花鳥や天女などの透かし彫りが施されており、ミヤマキケマンがたくさんの花を繊細につける様子からこの名前がついたそうです。

落葉広葉樹林の木々は春に葉を広げはじめ、初夏には青々とした葉を繁らせますが、春植物はそれより早く雪解けとともに芽を出し、葉を広げ、花を咲かせます。ミヤマキケマンの花の開花時期は只見町では5月頃で、花は実となり種子を落とすと間もなく葉を枯らし、地上部は消えてしまいます。落葉広葉樹が完全に葉を広げるまでの2ヶ月たらずの間だけ、地上部が見られるはかない存在のミヤマキケマンですが、アルカロイド系の毒を持っています。きれいな薔薇には棘とげがあると言いますが、きれいなミヤマキケマンには毒があるので山菜取りの時には気をつけましょう!

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

企画展示

「春植物の生活史 つかの間の季節を生きる色とりどりの花たち」
期 間：3月12日(土)～6月13日(月)

自然観察会

「春の花観察会」

日 時：4月30日(土) 13:00～15:00

集 合：只見町ブナセンター 12:45

観察地：黒谷川沿い ※開花状況によって観察地を変更します

持ち物：飲み物、雨具、長靴が好ましい 参加費：1,000円(保険料を含む)

「春のブナ林観察会」

日 時：5月1日(日) 10:00～14:00

集 合：森林の分校ふざわ 9:30

観察地：癒しの森 持ち物：昼食、飲み物、雨具、長靴が好ましい

参加費：1,000円(保険料を含む)

※自然観察会の参加には事前の予約が必要です。予約締め切りは4月29日です。

※悪天時は中止することがあります。

※観察会参加者はブナセンターに入館することができます。